

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公開番号】特開2008-169117(P2008-169117A)

【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-679(P2007-679)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/67 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/67

A 6 1 K 8/55

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/97

A 6 1 Q 19/00

B 0 1 J 13/00

A

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月27日(2012.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) アスタキサンチン、ポリグリセリン脂肪酸エステル、及びリン脂質又はその誘導体を含む平均粒径200nm以下のエマルジョン粒子；

(b) リン酸アスコルビルマグネシウム、及びリン酸アスコルビルナトリウムから選ばれる少なくとも1種のアスコルビン酸誘導体；並びに、

(c) 分散組成物全体の質量に対して20質量%以下の油状成分を含有する、分散組成物。

【請求項2】

リン脂質又はその誘導体がレシチンである、請求項1に記載の分散組成物。

【請求項3】

更にトコフェロールを含む、請求項1又は請求項2に記載の分散組成物。

【請求項4】

前記アスタキサンチンが、ヘマトコッカス藻抽出物に由来する請求項1～請求項3のいずれか1項記載の分散組成物。

【請求項5】

更にグリセリンを含む、請求項1～請求項4のいずれか1項記載の分散組成物。

【請求項6】

請求項1～請求項5のいずれか1項記載の分散組成物を含むスキンケア用化粧料。

【請求項7】

請求項 1 ~ 請求項 5 のいずれか 1 項記載の分散組成物の製造方法であって、
アスタキサンチンを含有するカロテノイド含有油溶性成分、ポリグリセリン脂肪酸エステル及びリン脂質又はその誘導体と、水相とを混合して、エマルジョン粒子を有する分散物を得ること。

前記分散物と、リン酸アスコルビルナトリウム及びリン酸アスコルビルマグネシウムから選ばれる少なくとも 1 種のアスコルビン酸誘導体及び、分散組成物全体の質量に対して 20 質量 % 以下の油状成分を含む水性組成物とを混合して、平均粒子径 200 nm 以下のエマルジョン粒子を有する分散組成物を得ること、
を含む分散組成物の製造方法。

【請求項 8】

リン脂質又はその誘導体の含有量が、前記分散物全体の質量に対して 0.001 質量 % 以上 20 質量 % 以下である、請求項 7 記載の分散組成物の製造方法。

【請求項 9】

請求項 7 又は請求項 8 の製造方法により得られた分散組成物。